

近江兄弟社学園もりの風こども園

日時：2014年10月22日（水）13:30-17:00

2014年10月29日（水）9:00-16:00

場所：守山市勝部 3-9-15

守山市の町と田んぼなど自然の間にある幼稚園と保育園が一体化されたこども園。今回は園に隣接する「いこいの森」という公園で、公園の自然を活かしたプログラムを作成しました。

（対象：4歳児 計30名）

1日目は講座、下見とプログラムづくり、2日目は作成したプログラムの実践とふりかえりです。講座の一部を紹介します。 講師 島川武治（しまっち）さん

ルーペを使ってみよう！

虫めがねとは違って、見たいものに自分から近づいて、ルーペを覗いてみましょう。

- まずは、自分の手を見てみよう！
- 葉っぱの筋（葉脈）が複雑に迷路になっているのが見えます。
- 単なる石が、宝石のように輝いている部分があります。
- コケを見ると、小さな森のように見えます。

保育者のみなさん、ミクロの世界に驚きの声をあげておられました。



保育者同士で、お互いの手のひらを見合いっこ。「えー、こんな手なんだ！」「しわが大きく見える、やだー！」



松ぼっくりや木の肌、石、葉っぱなどの自然物を自ら近寄って観察。普段は気づかない、見えない世界が広がります。



カラフルなはっぱ みーつけた！！

こども園のすぐ横にある「いこいの森」。今日はいつもの遊びとちょっと違います。いつもの先生ではなく、初めて会った先生が教えてくれます。

まずは、いろんな葉っぱをグループで集めようとのことで、たくさんの葉っぱを集めた子どもたち。よく見るといろんな色があります。黄色、薄赤色、赤色、赤茶色、こげ茶色、黒と並べていくと。。。葉っぱの変化を見ることで、葉から土壌へそして再び木へという、自然の循環が理解できました。

いろんな色の葉っぱがあるよ。グループで見つけてみよう！



いっぱい集まったよー こっちも葉っぱがいっぱいだよ。



当日は、保護者の方も参観してくださって、園の取組、滋賀の取組を理解していただける機会でした。

赤や茶色、黄色、オレンジの色の葉っぱに分けるよ。よく見ると1枚1枚葉っぱは違うんだなあ。



緑から黄、赤、茶、黒へと並べて。。。その後はどうなるのかな？土になって、また木の栄養になるんだよ。



森の妖精「クスリーヌ」の服を作ろう

森の妖精クスリーヌからのお手紙をもらった子どもたち。妖精と一緒に遊べるととても喜んでいたのですが、お手紙には「葉っぱの服が破れちゃって、遊べない。みんなに作って欲しい」とお願いの言葉が。さっき集めた葉っぱや新しい葉っぱをたくさん拾って服を作りました。

クスリーヌからのお手紙が葉っぱの中に入ってたよ！



みんなのおかげで、クスリーヌの服ができたよ。きれいな服だね。だけど、クスリーヌはどこにるのかな？



こんな所にスカートと服があるよ。クスリーヌの破れた服やで。みんなで落ち葉を貼りつけてあげよう！



葉っぱを拾って貼りつけよう！（ビニール袋に両面テープを付けています）



小人さんがほしいもの

森の妖精クスリーヌがみんなが作った服を着て現れました。クスリーヌと一緒に遊べる子どもたちはとってもうれしそう。クスリーヌのお題で、葉っぱや石を集めたり、木に引っ付いたりする遊びをしました。最後にクスリーヌから「またいこいの森で一緒に遊ぼうね」で別れました。

クスリーヌがいたよ！みんなは大興奮！！



クスリーヌと一緒に「こーびとさんのほしいもの！」と歌いながらポーズ。木のポーズは、木を探しに行きます。



小さくしゃがんだ時は、石を探します。



最初に自然物を探してきたお友だちが、クスリーヌと一緒に、「こーびとさんのほしいもの」を歌うよ。

プログラムを終えてのふりかえりから

- ・保育者自身が楽しさを知ることで、子どもたちに伝えたい。乳児期から自然と触れ合うことを始めれば、自ら自然と関わる子どもに育つと思う。
- ・いこいの森は、こんなに楽しいことを知った。森が知っていた以上に広く感じた。